

# 臨床研究に関する公開情報

熊本医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、末尾の「 ○問い合わせ先 」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

## ○研究課題名

「 自殺企図者にみられる知的能力の傾向と評価 」

## ○研究の概要

自殺企図をした患者さまの知能検査の結果の振り返りと集計を行い、知的能力やそのほかの問題の傾向を評価します。

## ○研究の目的

自殺の背景には逆境体験や社会的困難、精神疾患などがあることが指摘されています。一方、知的能力が低い場合、問題対処能力が限られているため困難に遭遇したとき適切な対処ができず、困窮状態から自殺の可能性を高めることも指摘されています。そのため、自殺企図をした方の知的能力を評価することは再度の自殺企図の予防や退院後のサポートを行う上で重要な要素になることが経験的に知られています。しかし、実際に自殺企図をした方の中にどのくらい知的能力が低かったり問題のあつたりする人がいるか、またどのような傾向が認められるか調査した研究はあまりありません。よって、今回の研究では当院に自殺企図で入院した患者さまの知能検査の記録を振り返り、知的能力が低い範囲の方の実数や傾向などを集計し、こうした方の状態評価や企図後のサポートに役立てたいと考えています。

## ○研究の方法と内容

当院の日常診療の中で、当院に自殺企図で入院した患者さまの内、知能検査を実施した方の記録（WAIS-III、WAIS-IVを実施しているもの）を過去の心理検査記録から集計・統計分析を行う後ろ向き研究です。

実数を集計したり、その傾向を評価します。また、知的能力以外にも発達障害などの困難を抱えている可能性も含めて分析します。

## ○研究の対象となる患者さま

2016年（平成28年）1月1日から2025年（令和7年）9月30日の間に自殺企図で当院に入院された患者さまのうち、入院中または外来診察で知能検査（WAIS-IIIまたはWAIS-IV）を施行した方で、2025年（令和7年）9月30日時点で終診、もしくは外来診察を継続中の方。

## ○本研究の参加について

後方的な記録の集計のため、患者さまに新たに参加をお願いすることはありません。よって、新たに患者さまに検査や費用が生じることもありません。

## ○実施期間

研究対象期間：2016（平成28）年1月1日～令和7年9月30日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和8年7月31日まで

○研究成果の発表

学会発表を予定しています。

○個人情報の取扱い

集計・分析したデータは集団として分析し、個別の事例内容を公表することはありません。また、分析に関し性別、年齢などに言及する場合があっても、個人を特定される内容は盛り込みません。

○研究の資金源、利益相反について

なし

○研究代表者

精神科 心理療法士・細江真紀子

○当院における研究責任者

精神科 心理療法士・細江真紀子

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター

部署：精神科

担当者：心理療法士・細江真紀子

電話番号：096-353-6501